

市議会だより

No. 35

ふっさ

◇ 昭和53年 4月20日発行

◇ 福生市議会事務局

◇ ☎ 0425-51-1511 (代)



フ
ア
イ
ト
!!
そ
れ
っ
ー

小学生バレー教室はじまる

全校の小学生を対象に4月12日から7月8日まで週二回バレー教室が開かれています。

—写真は市民体育館で練習にはげむ生徒—

予算が決まる

建設事業等を盛り込む

— 53年度一般会計予算 —

年四回開かれる定例会のうち、第一回目の定例会が九日から開かれました。

四月一日から始まる七十一億円からの五十三年度一般会計予算(当初予算)など、二十三件が原案可決、二件が修正可決され、陳情二件が採択と不採択に決まりました。

一日目 会議をする期間を九日から二十四日までと決めた後、市長から五十三年度の市政の方針について発言があり、続いて議員八人から申し出のあった一般質問に入り、この日は四人で終わりました。

二日目 前日に引き続き続いて四人の一般質問を行った後市長から出された議案の審議に入り、うち三件を可決し、五十三年度当初予算は、正副議長を除く二十一人で構成する予算特別委員会をつくり、そのほかは担当委員会で審査することとし、又委

第一回 定例会

員会で審査中であった陳情一件を賛成多数で採択して二日目を終わりました。

三日目 欠員となっていた議会運営委員会の委員一人を補充指名した後、各委員会で審査した結果について委員長からそれぞれ報告がされ、五月二十日から使用可能となる下水道の使用料条例と予算は、委員会では、五円安くするよう原案を修正して可決したとの報告があり、本会議でも委員会報告のとおり決定、又五十三年度当初予算は賛

成、反対の討論があり、賛成多数で原案どおり可決、陳情一件を賛成少数で不採択、議員から出された意見書と、委員会条例の一部改正案、市長から出された五十三年度最終の一般会計補正予算をそれぞれ原案のとおり可決し、今年一回目の定例会を閉会しました。

審議日程

3月	
9日	本会議・一般質問
10日	本会議・一般質問
13日	議案審議
13日	予算特別委員会
14日	予算特別委員会
15日	建設委員会
16日	厚生委員会
17日	総務委員会
20日	議会運営委員会
24日	本会議・委員長報告 議案審議

議会日誌

1月	
4日	仕事始め
18日	議会運営委員会
23日	東京都市収益事業組合 議会
24日	議会運営委員会、第一 回臨時会、全員協議会 横田基地対策特別委員 会
2月	
1日	横田基地対策特別委員 会陳情、三多摩上下水 (第三委員会)
4日	議会運営委員会

特別委員会 のやりとりから

歳入

中央図書館の建設

五十四年度には完成

問 中央図書館について聞き
たい。

地方財政危機の中、中央図書館や保健相談センター等多くの事業を盛り込み、前年度にくらべ一七・三%増の五十三年度一般会計予算

は、委員二十一人で構成する特別委員会をつくり、宇佐美良時委員長、宮沢良一副委員長のもとで、二日間にわたり慎重に審査した結果、賛成多数で市長提案のとおり決まりました。

企画財政課長 人口五万人以下は三百平方メートルしか補助対象とならないので、二千五百平方メートルの図書館兼資料館として造ってくれと防衛施設庁に要求し、五百五十六平方メートルが認められたが、残りは教育センターとして造ってほしいと要求している。五十四年度にはぜひ完成させたい。

問 個人市民税は目一ぱい組んだのか。

問 起債が多くなっているが財政状況はどうか。

企画財政課長 五十三年度まで三十六億五千万円程度になる

財政上まだ青信号

年ごとにふえる起債

企画財政課長 人口五万人以下は三百平方メートルしか補助対象とならないので、二千五百平方メートルの図書館兼資料館として造ってくれと防衛施設庁に要求し、五百五十六平方メートルが認められたが、残りは教育センターとして造ってほしいと要求している。五十四年度にはぜひ完成させたい。

問 起債が多くなっているが財政状況はどうか。

企画財政課長 五十三年度まで三十六億五千万円程度になる

財政上まだ青信号

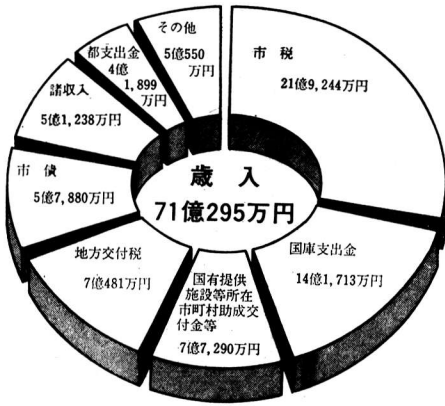
年ごとにふえる起債

問 起債が多くなっているが財政状況はどうか。

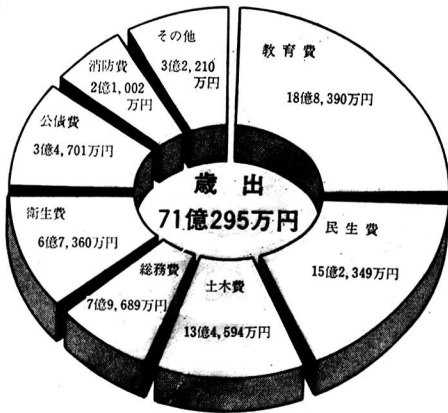
企画財政課長 五十三年度まで三十六億五千万円程度になる

総額71億余円の

中央図書館



昭和53年度
一般会計歳入歳出款別予算



が、財政の伸び等を考えるとまだ青信号といえる。

問 予算計上された都の支出金が、財政逼迫を理由にももらえなかったらどうするのか。

企画財政課長 都財政悪化で補助金等のカットから約二億円の負担増となるが、関係市と共に復活要求の運動をしていく。

《歳出》

家庭菜園のごみは

利用者間で処理

問 市民に貸している家庭菜園から出るゴミ処理費は、本人負担が当然と思うがどうか。

経済課長 今年から家庭菜園

ごとに使用者が協力会をつくって運営されるよう切りかえることで一般にPRしている。

ゴミは埋めるのを原則とし、一区画、二年間で千五百円の費用を取って運営をしていただきたいと思っている。

問 多摩橋下流でごみをもやしている業者の問題で、その話し合いの状況、対策の進めぐあいはどうか。

環境保全課長 建設省、東京都、多摩公害事務所、秋川市等と対策を講じているが、行政区域は秋川市であり、ごみをもやしている業者の転職問題等について協議をしているが、さらに関係機関とも話し合い、解決の道を見い出したい。

問 寝たきり老人の関係で、

私道整備の補助金

今年度から拡充

問 私道の舗装整備の補助対象基準について聞きたい。

建設課長 今までは、幅員四メートル以上の通り抜け道路だけであったが、幅員四メートル未満でも通り抜け道路や袋小路は沿道に四戸以上あれば対象としたい。補助率は四メートルの通り抜け道路は一〇〇%、四メートル未満の通り抜け道路と袋小路は八〇%補助としたい。

問 ごみ穴のさつき園は五十三年度一ぱい使用できるというが、その後の使い道を伺いたい。

環境保全課長 まだごみ穴として使っているが、地元との約束もあるので、公園等として使いたい。

問 西口再開発の今後の進め方について伺いたい。

3月

9日	第二回臨時会
10日	東京都議長会定例会
13日	総務委員会
22日	三多摩上下水(第二委員会)
28日	全国基地協議会総会
3月	三多摩上下水(第一委員会)
1日	三多摩上下水(第三委員会)、三沢市議来庁
3日	議会運営委員会、狭山火葬場組合議会、東京都収益事業組合議会
6日	青梅・羽村・福生地区都市下水路組合議会
9日	西多摩衛生組合議会
10日	西多摩農業共済事務組合議会
13日	第一回定例会(第一日目)、全員協議会
14日	第一回定例会(第二日目)
15日	昭和五十三年度福生市一般会計予算審査特別委員会
16日	建設委員会
17日	厚生委員会
20日	総務委員会
23日	議会運営委員会
24日	西多摩農業共済事務組合議会
25日	第一回定例会(第三日目)、全員協議会
28日	福生伝染病院組合議会

市長 原則は地元の方が再開発をすることを、一致して決めていただくことであるので、決まれば市としても大いにやっていきたい。

問 現在、老人に入浴券を出しているが、障害者にも券を出す考えはないか。

福祉事務所長 市としては、今の福祉会館が改築され、福祉の殿堂となったら、障害者の方々にも利用していただこうと考えている。

起立(賛成)多数で予算が成立
— 特別委員会 —



喜ばれる米飯給食

月二回にしたい

問 昨年度から米飯給食を行っているが評判はどうか。又単価はどのくらいか。

教委庶務課長 評判はいいようであり、五十三年度は月二回実施したい。又単価はパンは二十七円六十八銭、米飯は二十八円五十二銭である。

問 四小に第二給食センターを建設するようだが、完成後は

何校受け持つのか。

教委庶務課長 四小、六小、七小を対象とし、現在のものは取り壊したいと考えている。

問 図書の団体貸し出しでは冊数が多いと職員が個人の車で配本している。公用車を一台購入して配本サービスを円滑にすべきではないか。

教委社会教育課長 年間四千冊くらいの団体貸し出しがあり車の利用は多い。財政等のバランスから中央図書館構想の中で車について考えたい。

政府予算に追従

防衛補助中心だ

— 反対 —

本予算は政府の地方財政方針に忠実に従った内容である。建設事業は予算の二八・五%を占めるが、住民要望の度合いでなく防衛補助金を実施基準とし、又民生費は過去九年間で最低の伸びである。かつ又、軽自動車税や道路占用料で基地や一部企業に依然としてサービシしている。都市施設整備基金からの繰り入れは一億円にとどまったが、前年度と同額の繰り入れを思索するならば、それを住民要求実現の財源とすべきであり、よって本予算に反対する。

財政危機でも

市民要望を計上

— 賛成 —

乏しい財源の中、建設関係で西地区汚水、雨水管整備、中央図書館建設、保健相談センター等を含み、前年度比三二・六%の増を見たことに深く敬意を表する。又、福祉施設の増強は今後重要な課題ではあるが、国家財政の困窮という現状を深く考え、今後の地方公共団体の福祉行政のあり方を決めていくべきであると考える。

本予算は結構づくめのものではない。一例として、施政方針で強調した中央図書館建設は財政的裏づけが十分保障されていない。しかし、市長はこの建設に政治生命をかけて実現を図ると約束している。

行政面積が狭く、自主財源の対象が少ない当市では、市発展のガンともいうべき横田基地の存在を認めざるを得ないので、その分国庫補助金獲得に全力をあげるよりない。又前年度のような大型事業がないにもかかわらず、一七・三%増の予算編成を見たことは、現経済情勢下では歓迎されるべき措置である。

欠員の各種委員が決まる

◎西多摩農業共済事務組合議会議員 岩田博 (1月24日)

▷民生委員推せん会推せん委員 宮沢良一 (1月24日)▷福生市国民健康保険運営協議会委員 宮沢良一▷福生市表彰審査委員会委員 宮沢良一▷福生市交通安全対策協議会委員 宮沢良一▷福生市歩行者天国連絡協議会役員 宮沢良一▷福生市ゴミ減量運動対策協議会委員 宮沢良一▷福生市社会福祉協議会理事 宮沢良一▷福生警察署管内防犯協会役員 宮沢良一▷西多摩上下水及び道路建設促進協議会委員 大野行夫 (以上3月24日)

◎議会運営委員会委員 森田治男(3月24日)

◎厚生委員会の正副委員長が決まりました。(3月16日)

厚生委員会委員長 宮沢良一
厚生委員会副委員長 山崎良之助

結構づくめでないが

財政上やむなし

— 賛成 —

乏しい自主財源

防衛補助獲得に全力

— 賛成 —



一般質問

第1回定例会では
8人の議員が一般
質問を行いました



基地側に拡張される国道

国道の拡張は

基地側に決まる

質問 国道一六号の拡張計画は、三十六年に都市計画道路として認可され、その後四十六年幅員二十メートルの四車線に基地側へ拡張するよう要望書を提出、防衛施設庁と建設省で検討

している段階だが、沿道住民にとっては関心の深い問題である。この拡張の機会に緩行地帯と樹林帯を商店側に造れば、車公害の防止にもなると思うがどうか。

市長 基地側から基地側へ拡張するよう計画が変わった。国の事業であり、正式の通知が来

ていないのはつきりしないが、基地に面した地域は五十四年頃着工のよう

ある。防衛施設庁と米軍側の協議で、現道路を含めて基地側に二十メートル拡張することが決まった。そこで市民のためにどうい道路がいいか、幅員二十メートルの原則の上で立って運動してみたい。植樹は幅員の関係で無理だと思ふ。



国保の高額療養費

立てかえ払いを検討

質問 国民健康保険で三万九千円以上かかった高額療養費を一時的にせよ、多額の自己資金を用意し、医者に払わなければならぬため大変困っている。超過分は被保険者に戻って

るとはいえ、三カ月近くかかるため、被保険者にかわって、市が医療機関に立てかえ払いする考えはあるか。

市民課長 当市の高額療養費（三万九千円以上の分）の状況は、老人医療を除き四百七十九件、一千四百七十三万一千円で最高は三十七万九千円である。

最近、高額療養費の貸付制度が福祉対策として全国的に広がり、都下の十二市でやっている。国で認めているのは、低所得者を対象とし、医師会側と協定を結び、支払いを二カ月間猶予するという条件であれば、委任支払い方式ができるということである。

最近、国の社会保険制度審議会が抜本的改正につき検討して

おり、いまの本人以外七割が、入院十割、外来七割給付となるよう、そうなれば問題がなくなる。この委任方式について、医師会の協力も必要であり、国の動向を見ながら検討してみたいと思う。

突発事故の幼児保育

都の新設制度を活用

質問 核家族化の進む中で、突発的事故等が生じたとき、乳幼児や身障児の世話を、だれに頼むかと困っている人が多い。法的にも、市は保育に欠ける乳幼児を保育しなければならぬと規定されている。緊急時に備え、市が認定した家庭保育所で、一定期間子供を預けられる方法はどうか。

福祉事務所長 通常の保育は八時間だが、緊急時となれば二十四時間となり、現状からは困難だが、その場合は都の児童相談所がある。ことし三月から、都でも一時保育として、一般家庭に委託して保育できるように、近所でみていただいた場合、都から経費が出るようになる。

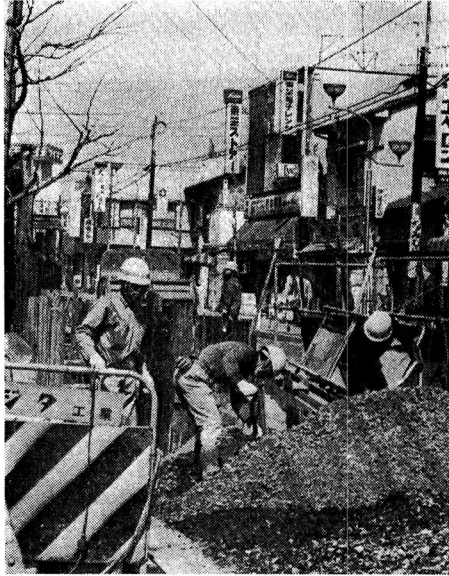
だったので、今後十分活用していきたい。

盛況だった青空市場

今年は五月と九月に

質問 昨年九月に役所の前で初めて青空市場が開かれ、盛況であったが、出店者側の魅力がないと長く続かないと思うし、消費者からは、月二回程度やってほしいとの声もあるが、今後の見通しと、都の放出物資について聞きたい。

経済課長 関係者の協力で試験的に青空市場を開いたが、流通機構等に市が介入することはできず、出店者の奉仕的な考えで、消費者サービスとしてやって



使用開始に急ピッチの下水道工事
—栄通り周辺—

ている。市内には農地もなく、出荷数や天候問題があるが、ことしは五月と九月に役所前で開く予定である。

都で二月にジャガイモと玉ねぎを放出したが、市内には非常に少ない。根本的な考え方としては、そのときの物価沈静、災害時の食糧確保ということだが、一般市民への放出となると流通機構や小売店等の問題が出てくる。昨年十月より、都・区

使用開始の下水道

便所の水洗化を促進

質問 公共下水道は、近代都

市の代表者による検討会が開かれており、今後具体的に要望していきたい。又、五十二年度から、安売りデーを第二、第四土曜日に指定青果店で行っているが、その日の入荷状況によっては価格も高くなり、消費者に奉仕できない面もあるので、四月からは、毎月一日に手持ちの青果を安売りし、地元消費者を吸収するように進めていきたい。

市における要件であり、住み良い町づくりのためにも、早急に整備しなければならぬ問題である。

①現在工事中の第一期事業は昭和四十八年度から着手し、五十二年度で終わる計画だが、施行面積百三十一ヘクタールの完成率はどうか。

②五月二十日から供用開始となる対象世帯と、一般家庭の便所を三年以内に水洗化する考えについて。

③全市域完成年度の六十年年度までの工事計画と財政対策について聞きたい。

④受益者負担金を徴収する区域を公示することになっているが、多摩河原地区はどうなっているのか。

市長 ②各所で工事をしてお

り、御迷惑をかけているが、せっかく多額の経費を投じてても、現在のし尿くみ取り料が無料のため利用していただけないのは困るわけで、五年程度の余裕を見て、利用者が少ないときは、受益者負担の原則から、し尿くみ取りを有料化する以外にないと思っている。

下水道課長 ①第一期事業認可区域百三十一ヘクタール中、福生病院前と東口区画整理区域が一部未整備で、百七ヘクタール、約八二%の整備率となっている。

第二期事業も昨年九月に認可を得、五十六年度完成を目指して着手している面積を含めると二二%の整備率である。

②供用開始面積百七ヘクタール中、三千四百戸程度が対象で水洗便所にするための助成金や融資のあっせん等を積極的にを行い、普及に努めたい。

③総事業面積六百六十六・四ヘクタール中、完成した百四十二・三ヘクタールを除く五百二十四・一ヘクタールは、五十三年度から着手し、六十年年度には完成する予定である。総工事費は、現在の単価に七%の上昇を見て、最終年度までに約八十五億二千五百万円となる。

企画財政課長 ③起債の元利償還金は、最終年度で約六億五

千万円になるが、過去の一般会計の伸びや、地方交付税の伸び等から見て、負担できると思う。

下水道課長 ④完成した区域の受益者負担金は、すでに十二月二十日に公示した。

企画財政課長 ④多摩河原区画整理地区内に先行して排水管を埋設する関係で、五十年、五十一年度の二カ年にわたって一億五千万円を負担金として受け入れたことは申しわけない。条例化時点で受け入れるべきであったと思う。

大地主の地代値上げ

最終的には裁判所

質問 市内には大企業に匹敵する土地所有者がおり、毎年のように固定資産税が上がった理由で、地代や権利金を値上げし、借地人はししぶぶ慮している状態である。前に固定資産税の引き上げに便乗した地代の値上げはしないよう指導しろとの通達もあったが、市はどう対処したのか。又市内の固定資産税額について聞きたい。



助役 市内には借地の建物が多く、固定資産税の評価が時期になると、地代の便乗値上げにならないよう配慮しろとの国の通達もきている。

土地の賃貸借は、公権力が私法上の地主と、借地人との関係で非常にむずかしい問題である。市としては、市民から相談された場合、地主側と十分相談して決めてほしいとか、法津上供託制度もある等の相談にのっているが、最終的には司法上の裁判所で適正価格を決定することになる。

税務課長 市内を四地域に分け五十二年度の坪当たりの固定資産税と都市計画税の合計額で、本町地区では一千四百二十円、牛浜地区で六百二十円、熊川地区で四百二十円、田園地域で二百九十円となっている。

電波障害の除却

基本的には原因者負担

質問 市街化の進む中で、近各地域でテレビの電波障害が発生し、市民が悩んでいる。いままでの解決策として、共同受信装置を設置してきたが、今後この維持管理費は公費で負担すべきだと思うがどうか。

市長 一般市民に迷惑をかけ

申しわけない。五十一年三月の郵政省通達によって、共同アンテナから各戸までの経費は、個人で負担する方法が全国的にとられてきた。基本的には、障害を与えている側が負担すべきと思うが、補償基準につき国で検討しており、設置済みの所、これから設置する所と不公平にならないよう、検討結果を見て対処していきたい。

環境保全課長 基地内の給水塔から電波障害が発生し、鍋二地区に共同アンテナを設置したがこの維持費が不明のため、管理組合側との協定ができなかったが、対象戸数から月二円程度とわかったので、近々協定書が結ばれると思う。

基本姿勢として、基地内施設

から発生している場合の維持管理費は、国が負担すべきであると運動をしている。

企画財政課長 国の通達内容は、原則的には原因者負担となっているが、反面障害を出している側と、被害を受けている側が協議して進められたということになっている。市内でも、

四月から部制度

人事異動は能力主義

質問 四月一日から課制度から部制度に変わるが、単に組織を変えるだけでは、民主的な行政運営はできない。市民の声を

第1回定例会を 傍聴された方々

(敬称略)

- 平田 鐵男
- 斎田 秀治
- 池谷 光夫
- 西川 隆章
- 佐藤 定子
- 中間 洋子
- 塚田 栄和
- 北村 昌子
- 桜井 陽子
- 吉沢 陽子



- 吉沢 国平
- 北村 安忠
- 長岡 進
- 角野 英子
- 西入 かね子
- 新井 志乃
- 嶋田 みよ子
- 木村 洋子
- 柳橋 ますみ
- 倉田 和子

議会を傍聴しましょう

次の定例会は
6月に開かれます

基地や市の施設による障害、いわゆる官と一般、又一般と一般との関係も出てくるので、国の基準が示された時点で考えていきたい。



くみ上げ、市職員の自主性、能力開発はどう考え、人事異動の基準はどう考えているのか。

市長 行政の姿勢として、整備された市、これから整備する市等、その形態により違うが、当市としてはいまの方法が一番いいと思っている。

住民と市の責任者は車の両輪であり、十分声を聞かなければならないが、市の財政上や長期計画の点で、地域世論の不満もあると思う。部制にしたから即効率的に運営ができるとはいえない。人事異動も年功序列でなく、多少実力、能力も見て行う考えである。

企画財政課長 各職員間の連絡調整会議や事務改善委員会、あるいは各プロジェクトチーム等において、職員の意見をくみ上げて、市の行政に反映させている。

秘書職員課長 職員研修は、

五十二年度で自治大学校に三名、市町村職員研修所に六十四名を派遣し、組織内研修としては七年以上の職員、現業職員、新人職員に分け、接遇や人間関係等について研修をした。

学校施設の改善

優先順に整備

質問 例年小中学校のPTA連合会から、テレビのカラー化や、プールの循環装置の設置等教育施設の改善につき要望されるが、ある年限を決めて計画的に進める必要があると思うがどうか。

教委庶務課長 基本的考え方としては、学校運営上支障のあるところを優先的に整備しておく、今後その方法を進める。

要望事頃のテレビのカラー化は、五十四年度までに低学年(小学三年生まで)を重点にし、その後全学年を対象にカラー化していきたい。二小のプールサイドも傷んでいるが、オープン時には補修したい。増築中の五小では、普通教室を図書室に使っており、不便をかけているが次の増築時には図書室をつくりたい。又プールの排水も悪いので、五十三年度で改修の経費を計上している。

給食費二百円値上げ

牛乳は三元カット

質問 ①学校給食費は、五十三年度から二百円上がり、月額二千五百円となり、さらに牛乳一本三元の都補助もカットされたが、給食費の公費負担について聞きたい。

②給食費の集金方法も、銀行振り込みやPTAで集金している等、まちまちだが、今後どのような方法で集めるのか。

教委庶務課長 ①二年間値上



長くもたせたい処理穴 —ごみ穴(さつき園)—

質問 市民生活から出るごみの量は、消費生活の伸びとともに毎年多くなり、五十一年には一万三千トンと膨大な量となった。ごみ減量運動も四年経過しその成果ははがゆい思いである。

現在利用しているごみ穴を、長期間使えるよう資源の回収を積極的に進めるべきと思うがどうか。又今後のごみ穴対策について聞きたい。

市長 市民生活から出るごみの量は、消費生活の伸びとともに毎年多くなり、五十一年には一万三千トンと膨大な量となった。ごみ減量運動も四年経過しその成果ははがゆい思いである。

環境保全課長 全国各地でごみ処理対策をやっているが、二月に市のごみ減量推進協議会を開き、資源の再利用についても運動することを決めた。当市では可燃物は毎日、不燃物は週一回回収しており、他市ではこれほどやっていない。

いま使っている処理穴も、予定より一年程度長く使え、地元

ごみ穴跡地

将来は森林公園に

質問 市民生活

基地東部の国有地を不燃物処理穴として確保したが、破砕機や圧縮機を入れ、できる限り長くもつようにし、将来はその場所を森林公園や運動場に利用したいと思う。

市長 一般の家庭でもダストボックスのない所はポリバケツやごみ袋を買っていただいており、不公平になるので、団地等でも負担をしていただきたい。

市長 国の予算であり、自治体の長がとやかく言うのはむずかしい問題である。日本の政治、経済、外交等の問題に専門的な立場で、あらん限りの努力をし、編成した予算であるので何とも言えない。ただ異例の予算であると思うが、そうせざるを得ないということは、国の興亡がかかっているからだとと思うので、自治体としても協力するのが至当だと思う。

核はないと信じる

核を想定した演習

質問 当市には極東最大の横田基地があり、市民の生命が日々脅かされ、環境も悪い。基地



も都に復活するよう運動していきたい。

②どの方法も一長一短があり、いまだ大きな問題もなかったもので、いまの方法でやっていく考えである。

市長 市行政の中でもごみ処理は重要な問題である。政府の景気浮揚策が進むと、物資の使い捨てから、さらにごみも多くなると思われるが、しかし生活の中で節約し、再利用をすれば処理穴が大変助かるわけである。

ごみ収集のポリバケツ

負担は個人で

質問 市内の団地等においては、家賃のほかに街路灯の電気代、清掃費、公園の管理費等を共益費として、一世帯年間約一万六千円を負担している上に、ダストボックスまで負担

質問 五十三年度政府予算三十四兆二千億円は、国債の増発で、大企業本位の予算である。国民の増税とインフレが進み、低福祉高負担となっているが、自治体の長として市長の考えはどうか。

市長 国の予算であり、自治体の長がとやかく言うのはむずかしい問題である。日本の政治、経済、外交等の問題に専門的な立場で、あらん限りの努力をし、編成した予算であるので何とも言えない。ただ異例の予算であると思うが、そうせざるを得ないことは、国の興亡がかかっているからだとと思うので、自治体としても協力するのが至当だと思う。

大企業本位の国予算

自治体の考えは

内では核演習が行われており、核が持ち込まれていることに對してどう考えているか。

市長 米軍側も日本の非核三原則を厳守するということであり、核はないと信じている。又軍人である以上、核の取り扱ひにも習熟していなければならぬであろうし、核を想定した演習も行われるものと思う。

障害児の保育

保母と話し合ひで

質問 市立保育園は民間の手本となる運営をしなければならぬ。都でもその必要性を認めている障害児保育をどう考えているのか。

市長 一日も早く障害のある子供を保育できる施設を造りたいが、いまは市民全体の施設造りに取り組んでいる段階であるので、理解願いたい。

福祉事務所長 現在三名の障害児を保育している。国や都の指導も、障害児保育事業は、保育に欠け、大体四歳児以上の障害の軽い子供を保育することである。入園時に応募があった時点で、保母が保育可能と認められれば入園させたいと思う。障害児保育につき保母の研究や現地見学も行っており、研

究している段階である。

産業道路の推進

都への移管が第一

質問 江戸時代においても都市計画に基づく都市づくりをして現在でもその道路は有効に使われている。当市でも住みよい環境都市を建設するため、都市計画道路が多く計画されてい

る。そのうち主な道路一福生駅東口開発に関連する道路及び一・三・一道路(産業道路)等についてどのように進行しているのか伺いたい。

市長 苦しい財政の中で市がやらなければならない。私どもはどうしても、計画道路のすべての路線を進行させるため、都施行の切りかえが第一である。都市計画法でいう健康で文化的な生活を営む上には、まず排水だと思ふ。この排水を第一に考え、ここ十数年間力を入れてきた下水道も、昭和六十年には何とか終わらせたい。

日本固有の北方領土

早期返還を要請



北方領土の早期返還に関する意見書

わが国固有の領土である北方領土の返還問題は、戦後30年余にわたる国民の悲願にもかかわらず未解決のままとなっており、すでに小笠原、沖縄が返還されている今日、残されている北方領土の1日も早い返還の実現と漁業資源の確保が強く望まれている。

歴史的にみて日本固有の領土であり、又第二次世界大戦中、連合国が戦後のよりよい世界を求めて表明した大西洋憲章、連合国共同宣言、カイロ宣言等にある領土不拡大原則に照らしても、即刻日本に返還帰属さるべきものである。

よって、国民の総意にこたえ、政府において北方領土の早期返還の実現に最善の努力を傾注されるよう強く要請する。

都市計画課長 一・三・一の関係は、計画決定をしてから一部十七年間そのままであるが、この道路は工業団地から通じ、産業道路という名前がついている。国や都の財政によって実施する方がよいと考える。市で実施する場合、相当多額の金がかかる。長期間該当する方には御迷惑をかけている。今後国、都等とも相談し、方針を立てて完成をしていきたい。

要望の多い霊園墓地

都営で西多摩地区に

質問 霊園墓地建設の市民の要望も多い。都市計画の一環として将来長期構想並びに計画等があるか。

都市計画課長 現在のところ市の計画としては、墓地を造る計画はない。ただ現況を見ると今後考えていかなければならぬと思う。又都営で西多摩地区に一カ所ぐらいよいので、今後都とも協議していきたい。

安いお葬式代

業者と十分協議

質問 市民葬儀については、都下十九市がいろいろな方法でこの事業を実施している。当市でも実施する考えがあるか。

福祉事務所長 都下二十六市中十九市が実施している。東大和市では、市と葬儀店が契約して、金壇の三段が十万円、五段が十五万円で、当市でも契約して実施したい業者もある。しかし市内の業者とも十分話し合いが必要であり、いろいろな問題もあつた。今後十分研究してまいりたい。

高齢者事業団

54年度にはできる

質問 長い間社会に貢献された老人の生きがいについても、行政として積極的に考えるべきであると思うがどうか。又福祉事務所内の面接室改善について聞きたい。

福祉事務所長 高齢者事業団も五十四年度にはできるよう努力しており、老人の方も福祉会館を利用して舞踊、書道、絵画等趣味の展覧会も開き、生きがいを感じて活発にやっていると聞くことである。又健康講座も開いてその成果も上がっている。

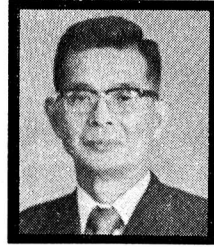
又面接室については、四月の部制施行時に検討したい。

川窪議員逝く

去る一月十九日に亡くなられた故川窪清一議員(58)に対して、第一回臨時会において、代表の議員より追悼演説が行われました。

川窪君は大正八年九月十八日に生を受け、御両親の温かい愛情あふれる中で成人し、家業に励んでこられました。そして近隣の方々を初め、多くの方々から尊敬と信望を集められ、昭和四十六年四月、福生市議会議員の議席を得られ、自來二期目に入っていたわけであります。その間、昭和四十八年から四

十九年にかけて建設副委員長、昭和五十年から五十二年にかけては副議長に就任され、市政の内外にその非凡な才腕を縦横無尽にふるわれ、市民の民生安定に大きく活躍されていた途中であります。



又、多摩河原の区画整理事業に当たっては、あるときは地元関係者の立場に立ち、又あるときは議員という公の立場から市の行政サイドに立って日夜東奔西走し、又歩道橋建設に当たっ

ては、東京都などに足繁く運動したかいあってりっぱな歩道橋も完成し、いまでは地域住民からも非常に喜ばれており、改めて川窪君の寸暇を惜しんだ活躍に、私も深く敬意をささげてまいったところであります。

当福生市は、まだまだ川窪君のような豊富な経験と識見に頼らなければならぬ大きな事業を控えているわけであり、心ある看護、手当のかいなく、去る一月十九日、永眠されましたことは哀惜の情に耐えない次第であります。

ここに故川窪君の御遺徳をしのび、永遠の御冥福をお祈り申し上げ、追悼の言葉といたします。

第1回臨時会

— 1月24日 —

今年に入って初めての臨時会が開かれ、最初に去る1月19日に急逝された故川窪清一議員の議席に花がそえられた議場で、故人をしのんだ追悼の発言が行われました。

続いて52年度下水道事業会計補正予算(総額11億2,800万円)を原案のとおり決定し、市民から出された陳情1件を総務委員会に付託、又欠員となっていた西多摩農業共済事務組合議会の議員を1人選出して閉会しました。

なお、民生委員推せん会推せん委員も1人選出されました。

第2回臨時会

— 2月9日 —

この臨時会には、昭和52年度の一般会計補正予算と土地区画整理事業会計補正予算の2案が提出されそれぞれ、原案のとおり決まりました。

今回の一般会計の補正は、基地内の高層建築や東電の高圧線によって原ヶ谷戸地区と武蔵野地区の約400戸にテレビ電波の障害があるため、親アンテナを建てて障害を取り除こうとする工事、それから国に対して要求していた仮称保健衛生センターの建設にいよいよ着手、総額1億5,557万3千円のうち8千万円余を53年度で行おうとするもので、議員から1月に臨時会をやったばかりであり、横の連絡が不十分であるとの指摘がされ、理事者側より、国との折衝から不手際があり申しわけないとの発言があった後、全員異議なく決まりました。

又土地区画整理事業会計補正予算は、長年続けられてきた加美平区画整理も完成間近となり、繩伸びの分について坪20万円の55%を補償するための4,554万4千円を主とする補正で、本案も全員異議なく決まり、第2回目の臨時会を閉会しました。



● 請願

陳情

▽採択

◇陳情第一号 元号(年号)法制化に関する陳情書

熊川一三〇五一

富田高代 他四百五十七人

昭53・1・24提出

▽一部採択

◇請願第三号 防犯灯増設及び遊園地設置に関する請願書

福生七九八

小林三郎氏 他一〇〇人

昭52・6・24提出

▽不採択

◇陳情第五号 老人医療費有料化反対及び制度改善に関する陳情書

熊川八三〇

西村秀吉氏 他一三〇人

昭52・9・27提出

▽継続

◇請願第四号 自主課税による税負担の不公平是正と税制改革による減税に関する請願書

立川市曙町二一五

石野 昇氏

昭51・9・22提出

◇請願第一号 障害者(児)の施設設置に関する請願書

志茂二〇二

佐藤絹江氏 他九〇一人

昭52・3・11提出